

地域活性化研修① 実施レポート

日時：令和元年6月14日（金）13時～16時

会場：大館市立城西小学校

参加者：42名

県内各地を訪れ、学びを生かした地域づくりの実践について理解を深める「地域活性化研修」を開催しました。今回は「コミュニティ・スクール」をテーマとして大館市立城西小学校で研修を行い、基礎的な知識や実践事例を学んだほか、ワークショップでは「熟議」の体験も行いました。

【講話】

はじめに「コミュニティ・スクールって何？～基本を確認しよう～」のテーマで、生涯学習センターの**皆川雅仁主幹**が講話を行いました。皆川主幹は、学校長としてコミュニティ・スクールの立ち上げと運営に関わった経験から、コミュニティ・スクールとは、保護者・地域住民・学識経験者・学校長等によって構成される「学校運営協議会」を設置した学校であること、その目的は学校の方針や活動に地域のニーズを的確に反映させ、最終的には持続可能な地域づくりに生かすためであることを説明しました。コミュニティ・スクールは目的ではなく手段（ツール）であり、学校と地域が目標を共有し、共に働く運命協働体となることの重要性を力説しました。



＜皆川主幹の経験を交えた講話＞

【実践紹介】



＜三浦校長からの実践紹介＞

続いて、大館市立城西小学校の**三浦栄一校長**から、「地域・保護者・学校で共に創る豊かな未来～秋田県最初のCS～」のタイトルで実践紹介をしていただきました。城西小学校は平成19年に秋田県内最初のコミュニティ・スクールとして指定を受け、「新しいタイプの学校運営のあり方」「地域に開かれた信頼される学校づくり」の視点から、地域住民や保護者が参画できる組織を作り、共に運営を行ってきました。大館市独自の措置である「CSコーディネーター」の配置や、地域委員会の開催を通じて、地域の思いや願いを取り入れた活動を実践しています。

近年はさらにコミュニティ・スクールのあり方を見直し、「未来大館市民を育てるふるさとキャリア教育」と「学校が核となり地域づくりをするスクール・コミュニティ」の戦略のもとで、地域の100年後を見据えて活動を充実させていくというお話でした。

【ワークショップ】

コミュニティ・スクールの推進するためには、関係者が同じ目標を共有することが大切であり、その手法である「熟議」の体験を行いました。生涯学習センターの**柏木睦主任社会教育主事**がファシリテーターとなり、「子どもに身につけてほしい力」のテーマで話し合いを行いました。

途中でグループ替えをしながら約90分間熱心に話し合い、様々な意見が交わされましたが、最終的には「郷土愛」「自立」「思いやり」「コミュニケーション」「健全な心身」というキーワードに集約されていきました。参加者は、話し合いの中から考えがまとまり、共有されていく過程を体験し、驚きと楽しさを感じていた様子でした。



＜白熱した熟議＞

【参加者の声】（抜粋）

- ・ コミュニティ・スクールについて初めて学びましたが、将来を見据えた地域と学校の取り組み、本当に素晴らしいと思います。多くの学校に広まればいいと思いました。
- ・ 今まで取り組んできたことが、間違いではないことが分かりました！
- ・ 子どもたちのため、地域のために何ができるか、改めて考えることができました。
- ・ 楽しく「熟議」を体験でき、あっという間に時間が過ぎました。